



漆野地区の新たな一歩



漆野地区若者チーム

漆 knows

を決定しました。

ボランティアという枠ではありませんが、一番の目的は地区内若者と高齢者の交流であり、そのキツカケ作りと考えています。「漆 knows」の皆さんは今回の活動が初めてで対象となる家を訪れ、趣旨を説明し、ボランティアさせていただけるとうお願いしました。

訪問した際にその家庭で抱える悩みや問題点を聞くことができ、それが「そのまま地区の課題を見つけるヒントにもなり得る」と感じたようです。

柴田さんはメンバーに対し「このような活動が過疎化に悩む地区で広がっていけば、ほんのわずかばかりかもしれないが、課題解決の足掛かりになるのではと考えている。まずは我々が実験的に活動を続けてみよう。自分の地区は自分で守る。でも可能な範囲で近隣地区にも協力していこう」と笑顔で話していました。

今後は地区内と近隣地区の希薄になっていた交流機会が増え、活動の幅が広がることを期待します。

昨年(2015年)7月に結

成された漆野地区若者チーム「漆 knows」(うるしの1代1名、30代4名、40代1名、全員男性です)。

メンバーは、リーダー栗田勝さん、栗田貴之さん、三浦宏治さん、高橋伸夫さん、荒木一志さん、そして地域おこし協力隊兼集落支援員の柴田学さんです。

漆野地区の1月末現在の人口

は66人と年々減少しています。

地区の課題は、若者の減少、そして高齢化が進んだ世帯と地区住民との交流機会の減少です。

ももとは柴田さんが地区の婚活支援のつもりで結成しましたが、方向性を改め、今回の地区内を中心としたボランティア提案。雪国らしく「雪かき」から始めることにしました。

地区内の老夫婦世帯、独居老人世帯を調査。メンバーで話し合いながら活動対象とする世帯



第1回活動記録

- 日時：2月14日(日) 9:00~
- 場所：漆野地区 栗田儀一郎さん夫妻宅
- 内容：家屋裏の雪かき(避難経路の確保)
- 参加メンバー：栗田勝さん、栗田貴之さん、三浦宏治さん、高橋伸夫さん、柴田学さんの5人

今後も地区内雪かきボランティア、雪がなくなったらゴミ拾いウォーキングなど予定。活動は漆 knows 新聞など作成し地区内で配布予定。